

きみ かげ ほし 朝と き
君の影 星のように 朝に溶けて消えていく
い さき な おも あふ
行き先を失くしたまま 想いは溢れてくる

つよ よわ こころ む あ
強さにも弱さにも この心は向き合えた
きみ あ す き こわ
君とならどんな明日が 来ても怖くないのに

ふたりある とき しん
二人歩いた時を 信じていてほしい

しんじつ うそ よる あ あさ く
真実も嘘もなく 夜が明けて朝が来る
ほしぞら あさ と きみ かがや
星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

し ゆめみ ひとり
さよならを知らないで 夢見たのは 一人きり
ころ きみ め なに うつ
あの頃の 君の目には 何が映っていたの？

ふたり とき だれ け
二人つないだ時を 誰も消せはしない

こどく いた きみ かん
孤独とか痛みとか どんな君も感じたい
いちど み あ ねが かな
もう一度 見つめ合えれば 願いはきっと叶う

よ あ まえ かぜ ほお なが
夜明け前 まどろみに 風が頬を 流れていく
きみ こえ きみ かお すべ つつ み
君の声 君の香りが 全てを包んで満ちていく

おも で は きみ そら ま あ
思い出を羽ばたかせ 君の空へ舞い上がる
ほしぞら あさ と きみ かがや
星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

あい ふたり あ
愛してる ただそれだけで 二人はいつかまた会える

きみのかげ ほしのように あさにとけてきえていく
君 影 星 朝 溶 消

いきさをなくしたまま おもいはあふれてくる
行 先 失 想 溢

つよさにもよわさにも このころはむきあえた
強 弱 心 向 合

きみとならどんなあすが きてもこわくないのに
君 明日 来 怖

ふたりあるいたときを しんじていてほしい
二人 歩 時 信

しんじつもうそもなく よるがあけてあさがくる
真実 嘘 夜 明 朝 来

ほしそらがあさにとけても きみのかがやきはわかるよ
星空 朝 溶 君 輝

さよならをしらないで ゆめみたのはひとりきり
知 夢見 一人

あのころの きみのめには なにがうつっていたの?
頃 君 目 何 映

ふたりつないだときを だれもけせはしない
二人 時 誰 消

こどくとかいたみとか どんなきみもかんじたい
孤独 痛 君 感

もういちどみつめあえれば ねがいはきっとかなう
一度 見 合 願 叶

よあけまえ まどろみに かぜがほおを ながれていく
夜明 前 風 頬 流

きみのこえ きみのかおりが すべてをつつんでみちていく
君 声 君 香 全 包 満

おもいでをはばたかせ きみのそらへまいあがる
思 出 羽 君 空 舞 上

ほしそらがあさにとけても きみのかがやきはわかるよ
星空 朝 溶 君 輝

あいしてる ただそれだけで ふたりはいつかまたあえる
愛 二人 会